

令和5年度 学校教育目標

千早赤阪村立千早小吹台小学校

校長 大門 賀子

～だれもが輝きひびき合う学校をめざして～

《キャッチフレーズ》 やさしさと笑顔いっぱいの学校

《教育目標》 「豊かなこころ」「確かな学力」「健康な身体」の育成

| | | |
|---------------------------------------|--|---|
| めざす学校像 ○明るい学校 ○楽しい学校 ○開かれた学校 | めざす子ども像 ○人の気持ちがわかる子 ○すすんで学ぶ子 ○元気でたくましい子 | めざす教師像 ○人権意識を大切にする教師 ○授業を工夫改善し研修に努める教師 ○チームを意識し緊密に連携協力する教師 |
|---------------------------------------|--|---|

《重点目標》

◆『ともに学び ともに育つ』支援教育の視点に基づいた学校作り(二年目)

個性を認め尊重し合い、協力し、だれもが安心して学べる「授業」「学校環境」を作る

- ・児童それぞれの良さを認め、生かし、寄り添い、助け合う姿勢を大切にしたクラス作り
(自尊心、自己肯定感、自己有用感の高揚、他者理解の促進)
- ・教職員それぞれの良さを発揮し、補い合い、組織的に取り組む職員室作り



『チーム千早小吹台』

◆教育の個別最適化、次世代型学習の推進

一人1台端末を活用するための研究、実践を推進し、ノート学習の良さを生かした、次世代型学習のあり方を追求する

- ・デジタル教科書、AIドリル、-googleクラスルーム、ロイロノート等を活用しながら、「個別最適化された学び」と「協働学習」のあり方、可能性について研究していく。『タブレットの日常化』
- ・自学自習を進めるためのノート作りの推進

◆特色ある学校作りの推進(二年目)

地域と連携を取りながら、学校教育の課題に取り組むとともに、郷土である大阪府唯一の村「千早赤阪村」に誇りと愛着を持ち、さらに広い世界ともつながろうとする子どもたちを育む

- ・郷土学習を進める(歴史・自然・名所などについて全学年の計画の確立)
- ・国際理解学習の継続と質の向上に努める
(リモートやメール、手紙による交流 ゲストティーチャーによる国際理解授業)
- ・言語活用能力(日本語・英語)、発信力を高め、校内、校外へ発信する機会を増やす